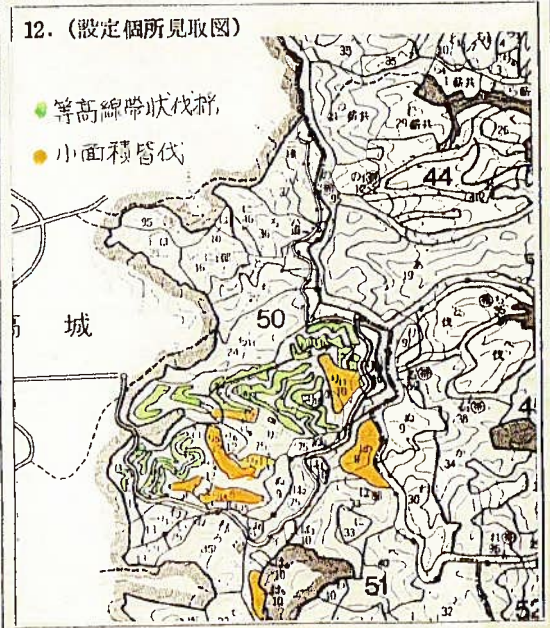


3. 実験項目		<p>施業指標林 (生産造林連けの作業体系化試験) ◎実験その1. 等高線帯状伐採 ◎実験その2. 小面積皆伐試験</p>		4. 実験目的		<p>(1) 生産から更新にいたる一連の作業体系の確立をはかる。 (2) 森林のもつ公益的機能の確保と木材生産を調和させる施業方法を確立する。</p>	
5. 設 定	担当区名	高 城 担 当 区		国 有 林 小 班	宇 賀 場 原 国 有 林 50 林 班 小 班		
	設 定 者	(官職) 農林水産技官 (氏名)	中 村 政 督 男	面 積	◎等高線帯状伐採 21.00ha ◎小面積皆伐 7.61ha		
	設 年 月 日	昭和 26 年 月 日	終 年 月 日	昭和 年 月 日			
6. 実験の実施方法		※ 試験別、設定年度別面積及び実施方法は、別紙の課題項目のとおり。					
7. 更 新	植 付	新入 植下 昭和 年 月 日	11. 地 況	方 位	標 高	150m ~ 340m	
	樹 種			傾 斜	平均 度	基 岩	頁岩、砂岩
8. 施 肥	苗 木		土 質	土 性	気 象	年平均温	15.7°C
	ha 植 栽 本 数	本/ha		深 度		年最高温	25°C
9. 保 育	幼 壯 成	台 木 本 木	土 質	堅 密 度	年最低温	-7°C	
	下 刈			湿 度		年 降 水	2,710mm
10. 実験地の現況	つ る 切 伐		土 質	土 壤 型	象		
	枝 間 打 伐			土 壤 度			
10. 実験地の現況		明治22年植の杉林を昭和26年度植の杉林に更新し、高木有当り250m					



13. 設定時の植生

14. その他

(記載要領) 1. 分類欄は造林実験営林署運営要綱2. (a)、(b)、により大別し更に分類番号欄で細別する。  
2. 設定個所見取図は2万分の1の事業図で実験地およびプロットの設定状況が簡単にわかる程度とする。  
3. 既設営林地に実験地を設定する場合は新植から保育迄の経過を作業毎に記入する。  
4. 成木施肥実験の場合高林台のための施肥の経過が不明瞭な場合は判明する範囲で記入する。

3. 実験項目

等高線帯状伐採

4. 実験目的

5. 設定

担当区名  
設定者  
設年月日

高城担当区  
(官職) (氏名)  
昭和 46 ~ 49 年 月 日

国有林  
面積  
積量  
終年月日

宮崎県七緒郡高城町大字石山  
字 登海原 国有林 50 林班 小班

12. (設定個所見取図)



6. 実験の実施方法

年度	設定面積	新植面積
46	30,411 <sup>㎡</sup>	8,764 <sup>㎡</sup>
47	65,520	20,635
48	65,076	22,568
49	45,720	15,020
計	210,000	72,055

1. 年度別設定面積と新植面積  
2. 作業方法  
ア. 伐区設定  
46年度は帯幅を山上で計画(帯幅と水平距離で求めた)し、現地に移動方法で実施した。  
47年度は帯幅を垂直距離で計画して現地設定を行った。  
48年度以降は5000分の1の地形図を用い、帯幅を垂直距離で求める方式によって設定計画を立てて実施した。  
イ. 集運材作業  
46年度は人力、高力、主索循環式索道の3つの方法  
47年度以降は主索循環式索道によって実施。  
以て植付作業に準じて普通植栽法で実施。

7. 更新

植付  
樹種  
苗木  
ha 当り数  
ha 植栽本数

11. 方位  
傾斜  
土性  
土深度  
堅密度  
湿度  
土壌型  
土壌酸度

標高  
基岩  
気象  
年平均気温  
年最高気温  
年最低気温  
年降水量

8. 施肥

幼樹成  
令令  
木木木

9. 保育

下刈  
つる切伐  
枝間打伐

10. 実験地の現況

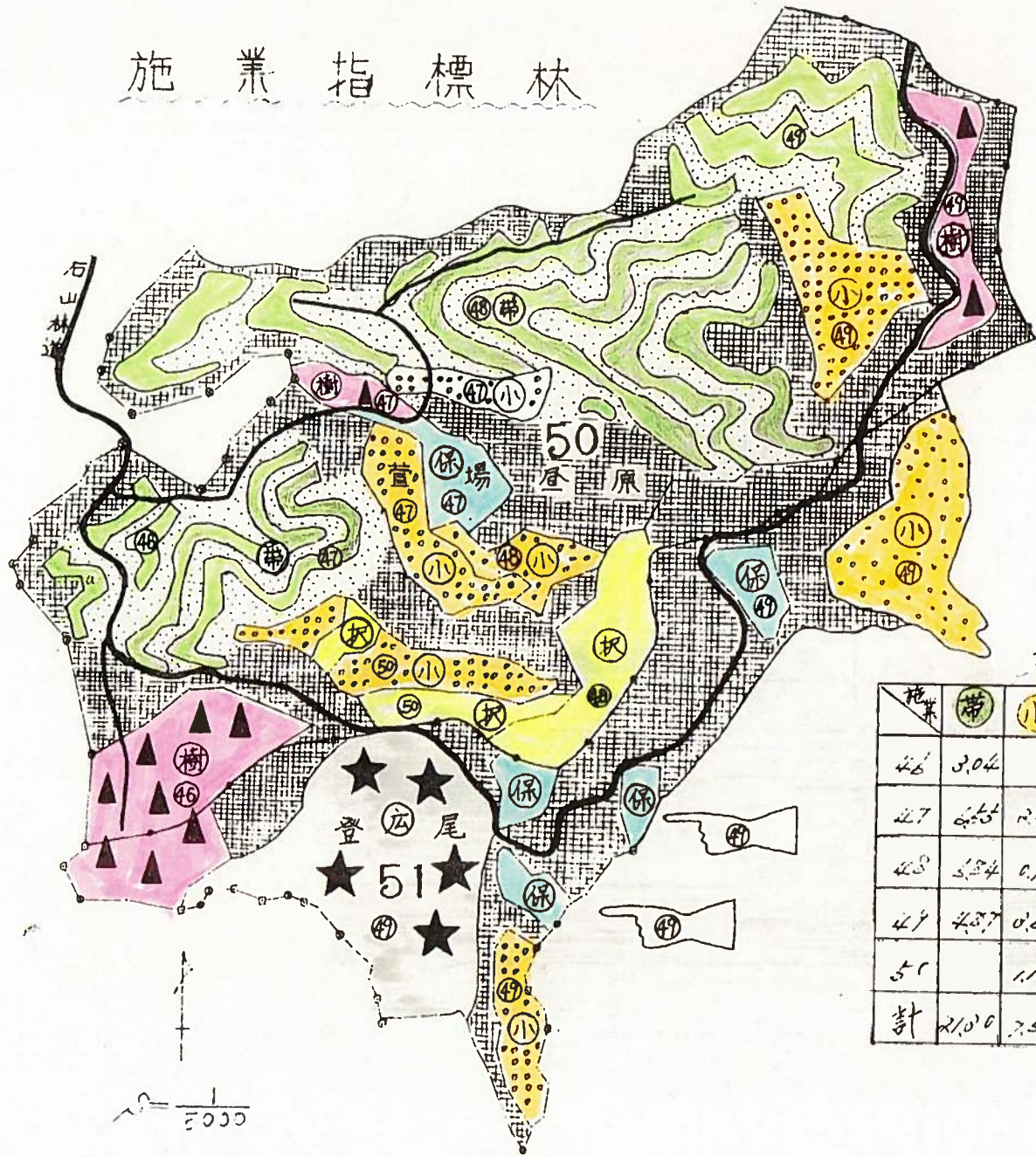
13. 設定時の植生

別紙 植生調査表のとら。

14. その他

(記載要領) 1. 分類欄は造林試験管運営要綱(2. (b), (c))により大別し更に分類番号欄で細別する。  
2. 設定個所見取図は2万分の1の事業図で実験地およびプロットの設定状況が簡単にわかる程度とする。  
3. 既設森林地に実験地を設ける場合は新植から保育迄の経過を作業用記入する。  
4. 成木施肥実施の場合高林令のため施肥の経緯が不明瞭な場合は判明する範囲で記入する。

# 施業指標林



凡例

- 帶 --- 等高線带状
- 小 --- 小面積皆伐
- 樹 --- 樹下植栽
- 保 --- 保殘木施業
- 採 --- 採伐施業
- 云 --- 広葉樹施業
- 49 --- 設定年度
- --- 林道, 作業道
- --- その他(林保帯)

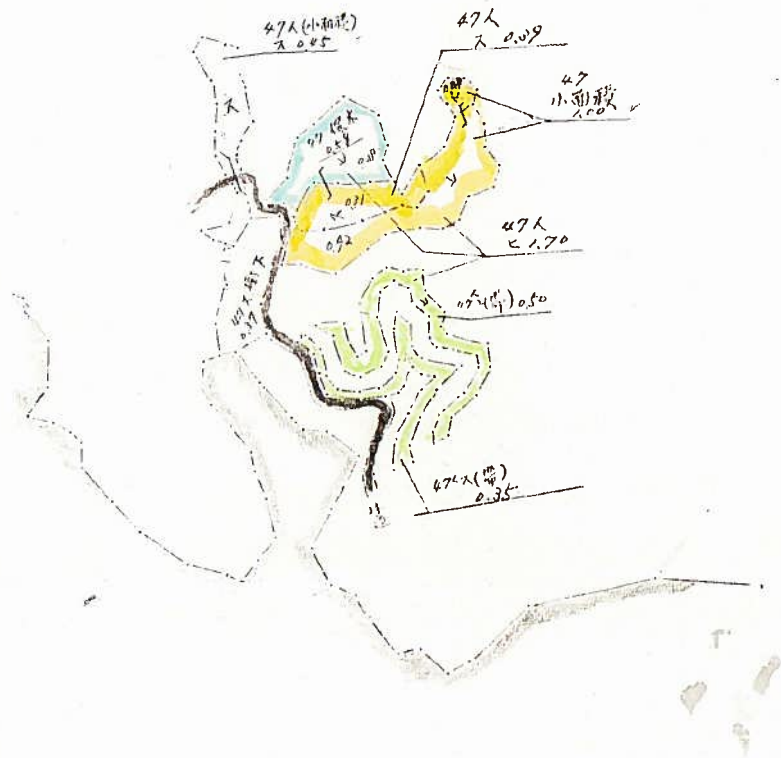
林道及作業道新設

年度	林道	作業道	計	林道年度
46	441 <sup>m</sup>	272 <sup>m</sup>	713	—
47	377	911	1,288	—
48	1,260	390	1,650	—
計	2,078	1,573	3,651	57 <sup>m</sup>

設定面積 : HA

施業	帶	小	樹	保	採	云	他	計
46	3.04		2.52				0.57	6.13
47	6.55	2.07	0.07	0.59			1.43	11.01
48	5.54	0.76		3.90	1.24		0.24	10.68
49	4.87	0.60	0.76			3.98	1.59	11.70
51		1.15			0.82			1.97
計	21.00	4.58	3.35	4.41	2.06	3.98	1.80	36.13

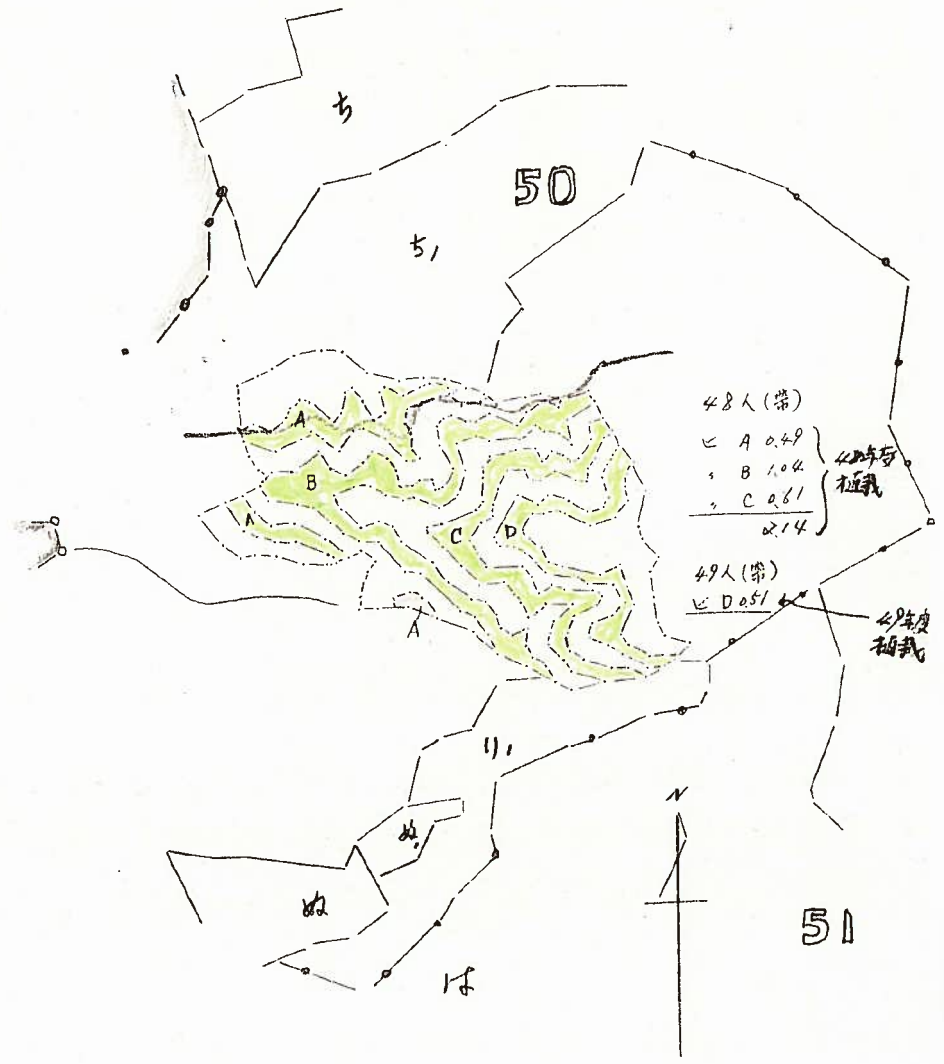
47年度設定の分  
 菅場原 50リ林小班  
 小間積皆伐試験  
 等高線帯状伐採  
 保残木作業



48年度設定の分  
 菅場原 50リ林小班  
 等高線帯状伐採試験

48人  
 A 0.49  
 B 1.04  
 C 0.61  
 2.14

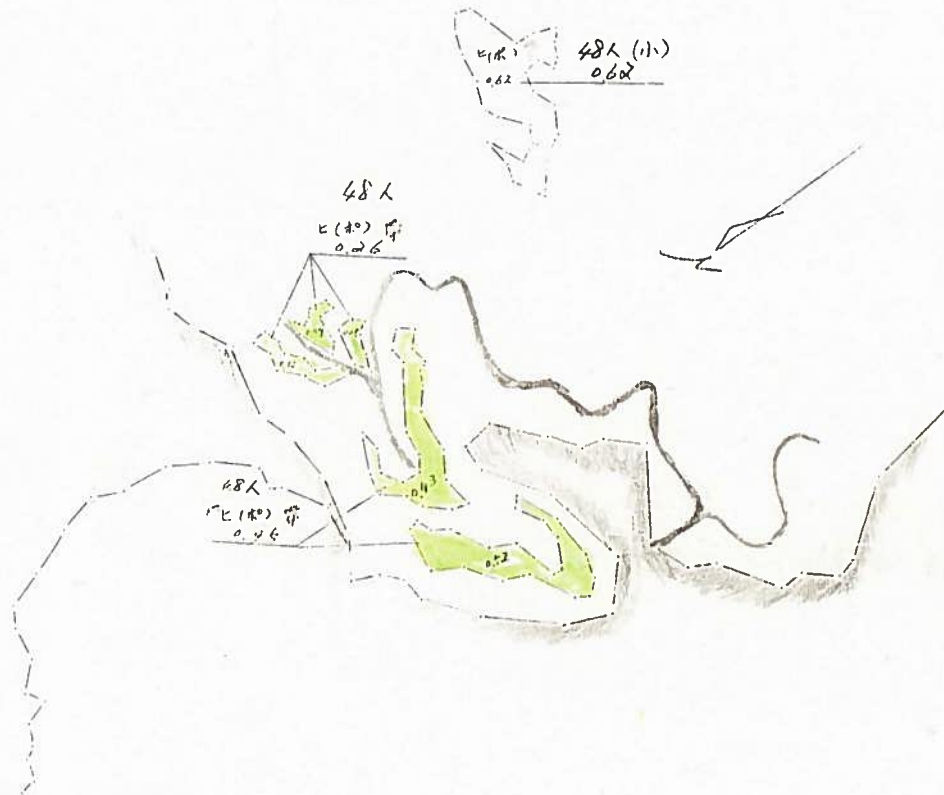
伐面 2.76



48人(帯)  
 A 0.49  
 B 1.04  
 C 0.61  
 2.14  
 49人(帯)  
 D 0.51  
 48年度  
 保残  
 49年度  
 保残

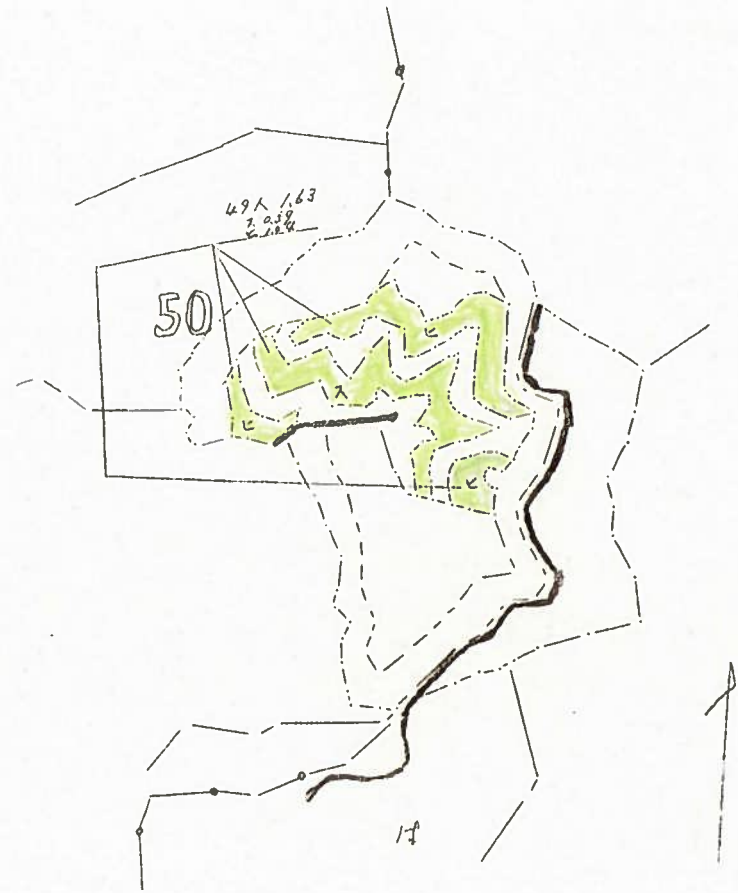
48年度設定の分

菅場原 50リ林小班  
 早新線 帯状伐採試験  
 小面積帯伐



49年度設定の分

菅場原 50リ林小班  
 早新線 帯状伐採試験地





都城 営林署

No. \_\_\_\_\_

# 造林実験地位置図および設定図

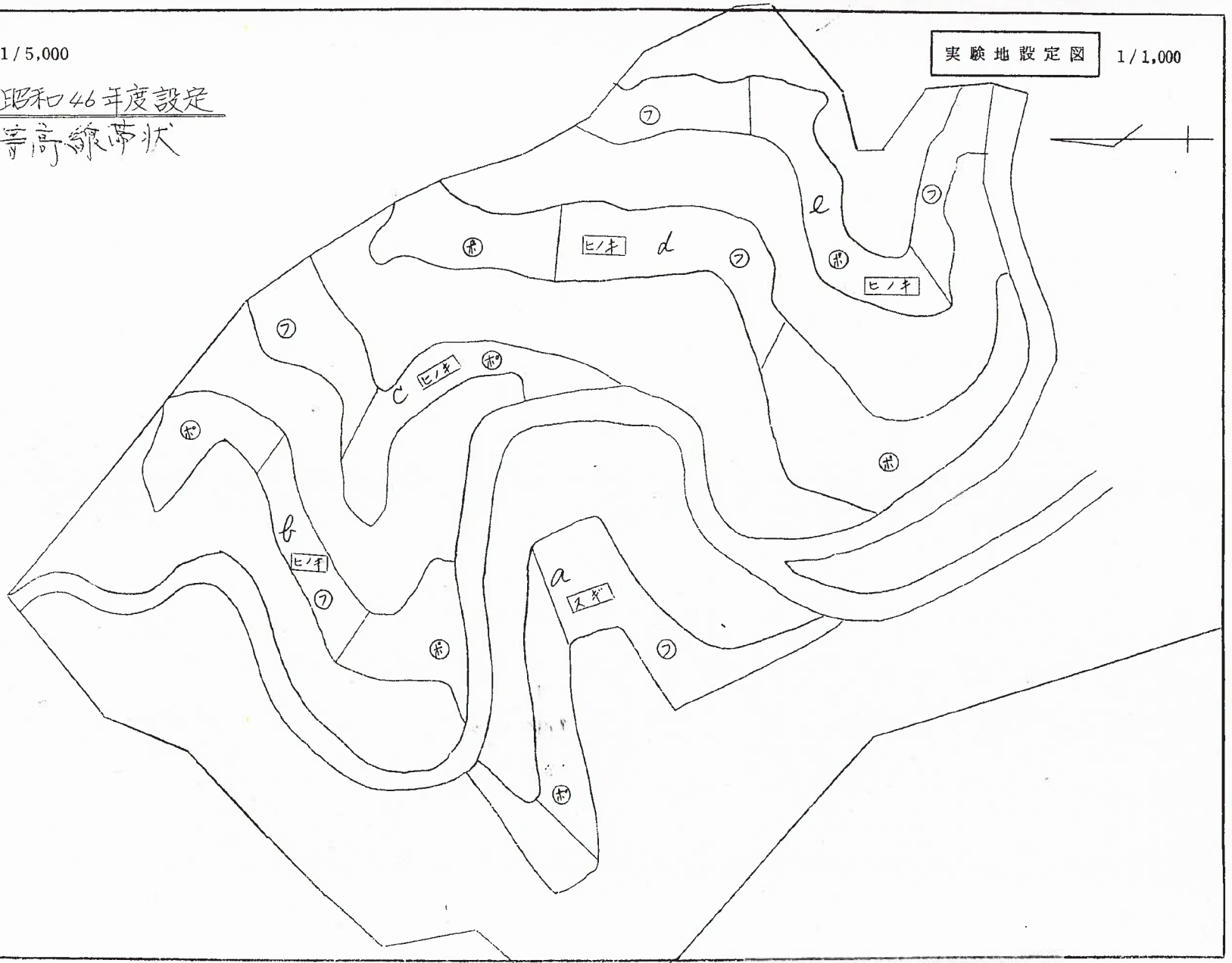
1. 分類

2. 分類別  
番号

実験地位置図 1/5,000

実験地設定図 1/1,000

昭和46年度設定  
等高線帯状



都城 営林署

No. \_\_\_\_\_

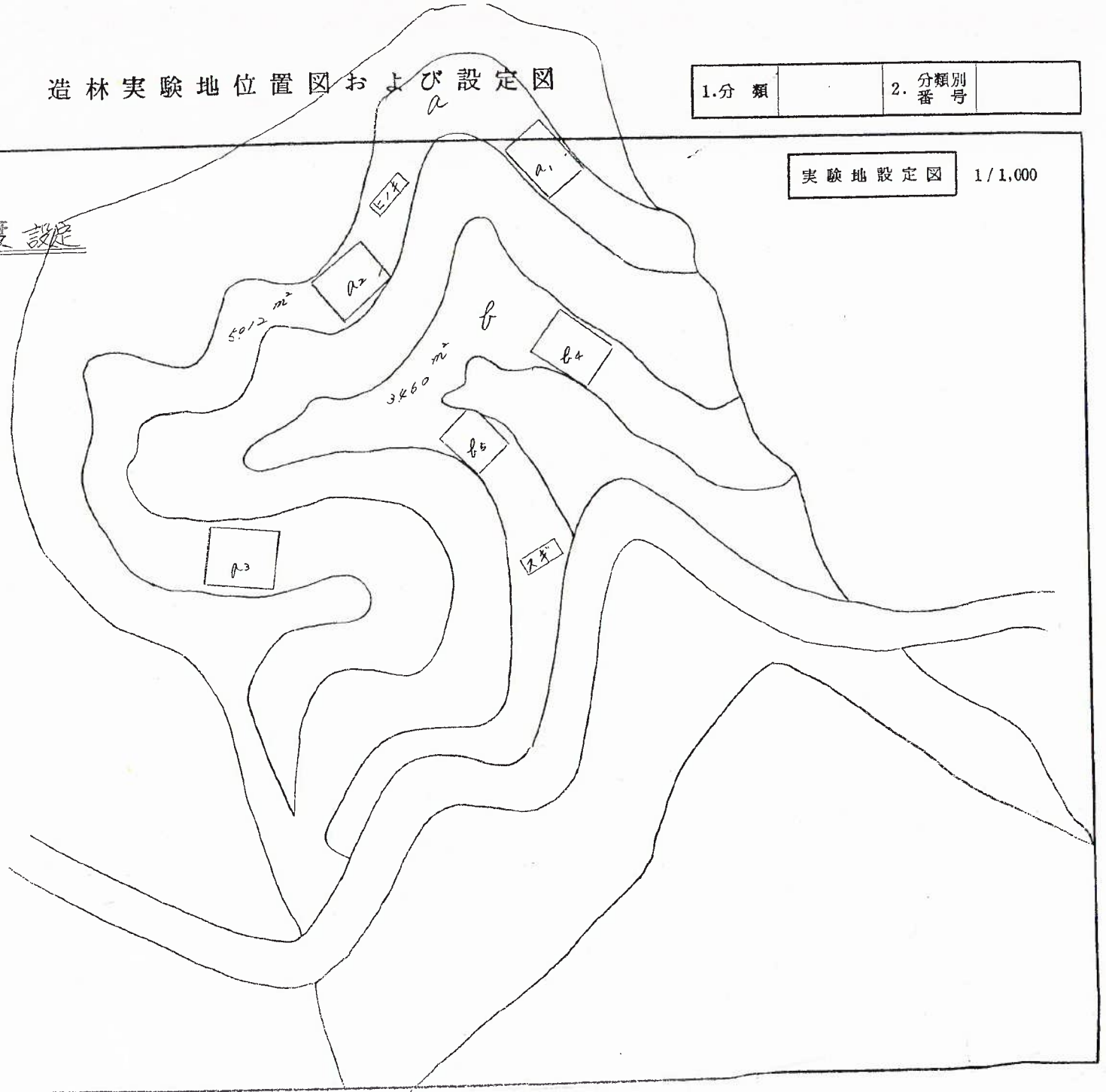
# 造林実験地位置図および設定図

1. 分類		2. 分類別 番号	
-------	--	--------------	--

実験地位置図 1/5.00

昭和47年度 設定

実験地設定図 1/1,000





都城 営林署

No. \_\_\_\_\_

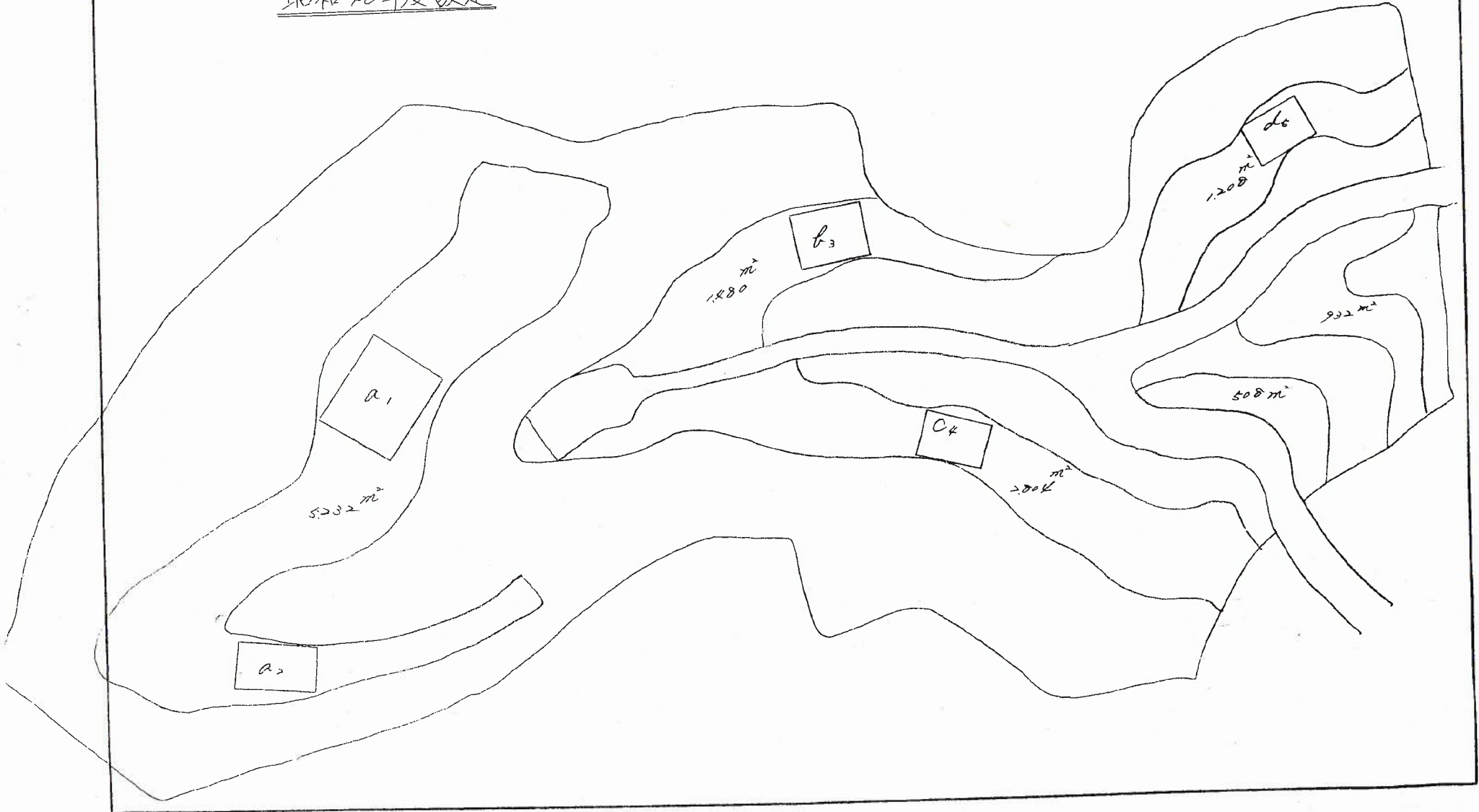
# 造林実験地位置図および設定図

1. 分類		2. 分類番号	
-------	--	---------	--

実験地位置図 1/5,000

実験地設定図 1/1,000

昭和48年度設定



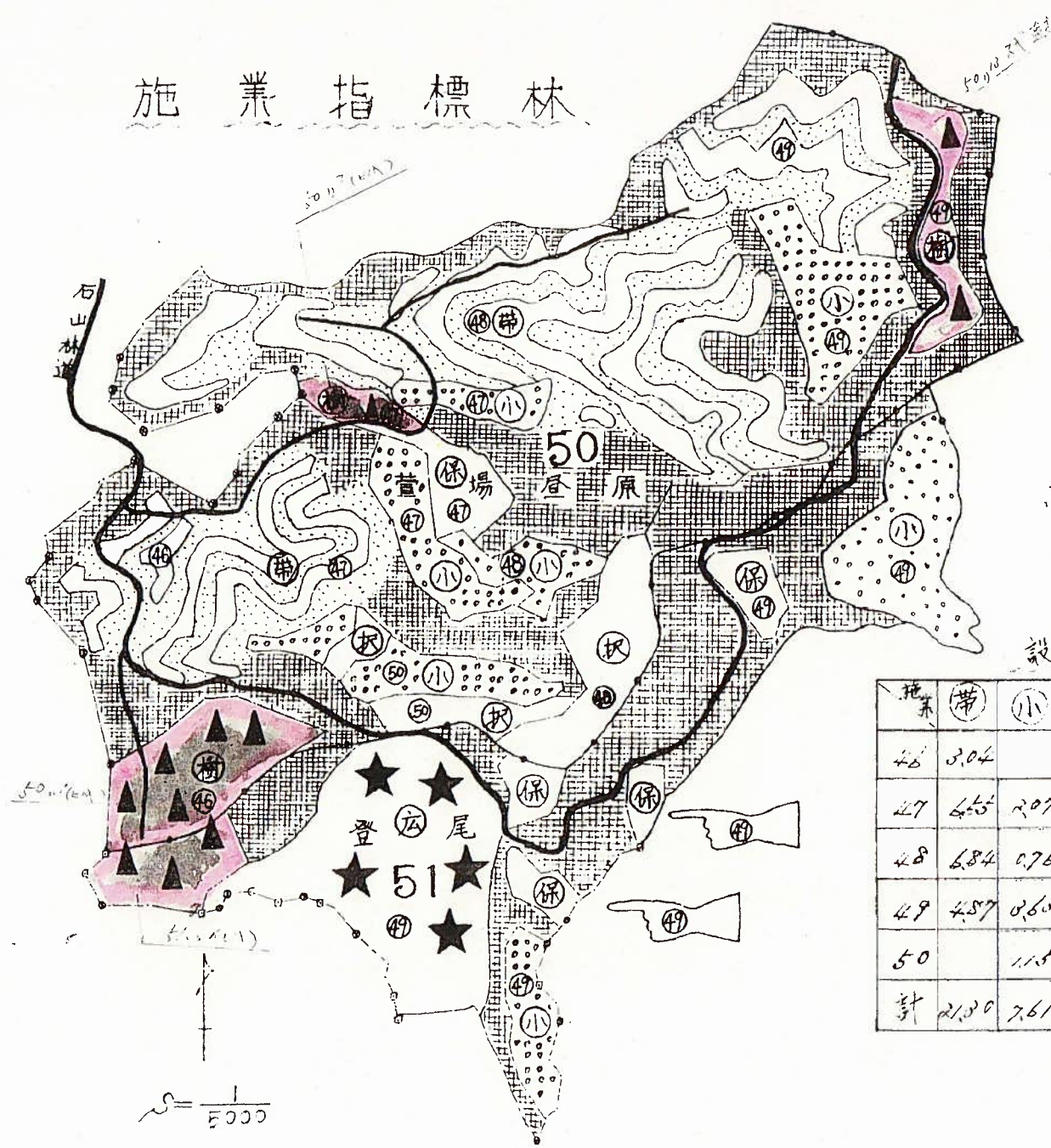


造 林 実 験 地 設 定 力 一 下

3. 実験項目		施業指標林 その樹下植栽		4. 実験目的		(林内人工更新法)による施業法の確立をはかる	
5. 設定	担当区名	高 城 担 当 区		国 有 林 班	貴 場 支 庁 有 林 班 小 班	50 林班 と 小班	
	設定者	(官職) 農林水産技官 (氏名) 中村 敏 勝 尾 忠 志 男		面 積	積 量	46年度 2.52 ha 47年度 0.76 ha 47 " 0.07 " 計 2.65 ha	
	設定年月日	昭和 46 年 年 度 月 日		終 年 月 日	昭和 60 年 年 度 月 日		
6. 実験の実施方法							
調査事項 1. 作業地程 2. 造林木の成育 3. 植生の相観 4. 林の照度 5. 保残木の成育 6. その他							
7. 更新	植付	新 植 下 昭和 年 月 日		11. 方位	標 高	150 ~ 200 m	
	樹種	新 植 下 昭和 年 月 日			傾 斜	基 岩	頁 岩、砂 岩
新 植	苗木			土 性	年 平 均 温	15.7 °C	
	ha 当 り 植 栽 本 数	本/ha				深 度	年 最 高 温
8. 施肥	幼 木 成 育			堅 密 度	年 最 低 温	-7 °C	
9. 保 育	下 刈					湿 度	年 降 量
	つ 除			土 壤 型	BC ~ BD		
10. 実験地の現況	枝 間			土 堆 積 度			
	昭和46年度植栽スキームと人工林の 当初の植栽は { 2.52 ha } の林分						
				12. (設定箇所見取図)			
				13. 設定時の植生			
				別紙集計表の通り			
				14. その他			

(記載要領) 1. 分類欄は造林実験営林署運営要綱, 2. (a), (f), により大別し更に分類番号欄で細別する。  
2. 設定箇所見取図は2万分の1の事業図で実験地およびプロットの設定状況が簡単にわかる程度とする。  
3. 既設営林地に実験地を設定する場合は新植から保育迄の経過を作業毎に記入する。  
4. 成木施肥実験の場合高林台のため施肥の経緯が不明瞭な場合は判明する範囲で記入する。

# 施業指標林



## 凡例

- 帶 --- 等高線帶狀
- 小 --- 小面積皆伐
- 樹 --- 樹下植栽
- 保 --- 保殘木施業
- 採 --- 採伐施業
- 云 --- 云葉樹施業
- 49 --- 設定年度
- ~ --- 林道, 作業道
- 其他 (林衣保帶) --- 其他 (林衣保帶)

## 林道及作業道新設

年度	林道	作業道	計	林道長度
46	441 <sup>m</sup>	272 <sup>m</sup>	713	
47	377	911	1288	
48	1200	390	1590	
計	2018	1573	3594	52 <sup>m</sup>

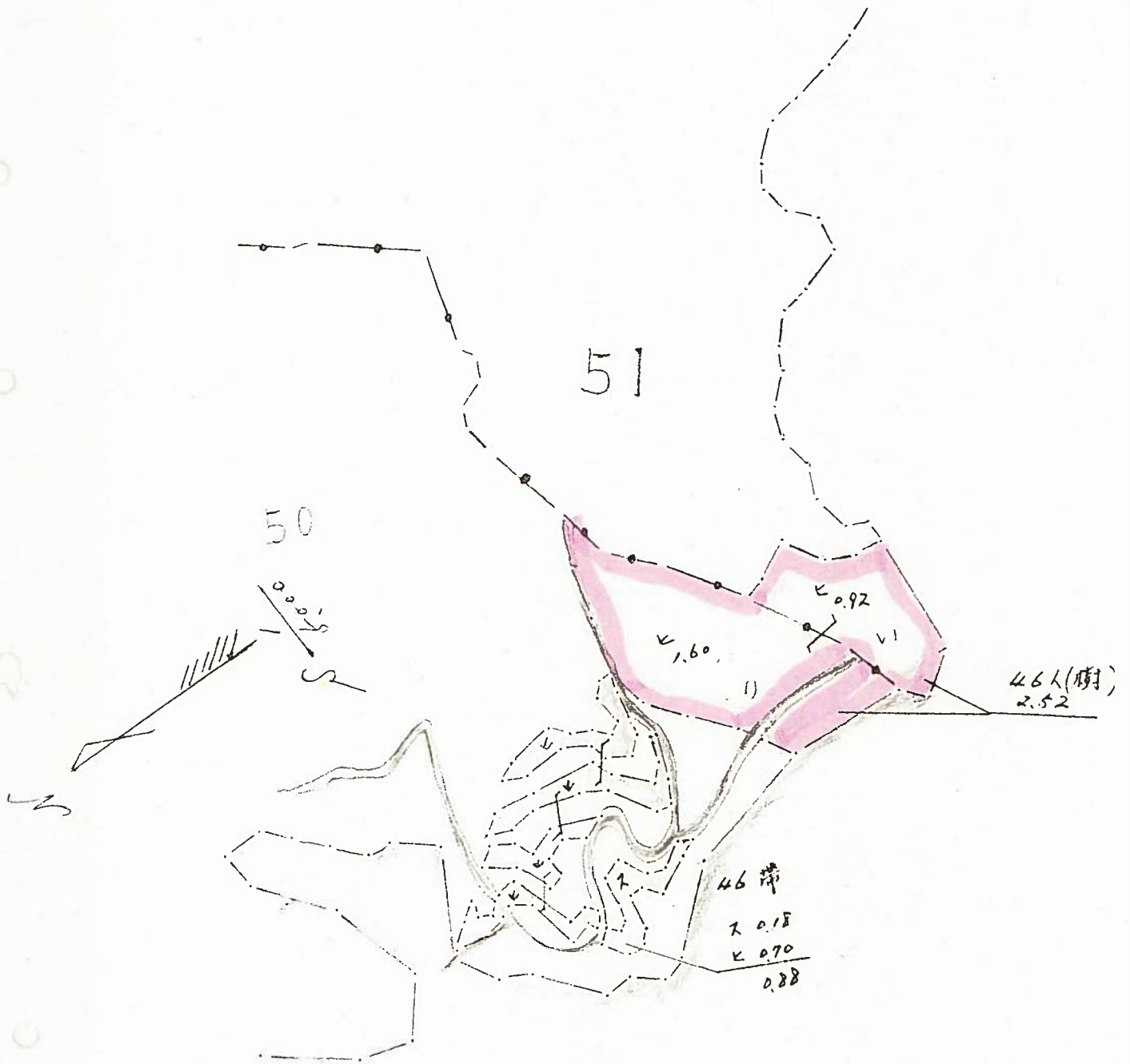
## 設定面積 : HA

施業	帶	小	樹	保	採	云	其他	計
46	3.04		0.07				0.57	3.68
47	6.55	2.07	0.37	0.57			1.43	11.01
48	6.84	0.76		0.90	1.24		0.24	9.98
49	4.57	0.60	0.76			3.98	1.59	11.50
50		1.15			0.32			1.47
計	21.80	7.61	3.65	1.47	2.06	3.98	1.80	54.02

(表-1 年度別設定面積)

# 46年度設定一分

倉屋 5/11 林小班  
 菅端原 50/9 林小班  
 等高線带状伐採試驗  
 樹下植栽



都城營林署

No. \_\_\_\_\_

# 造林実験地位置図および設定図

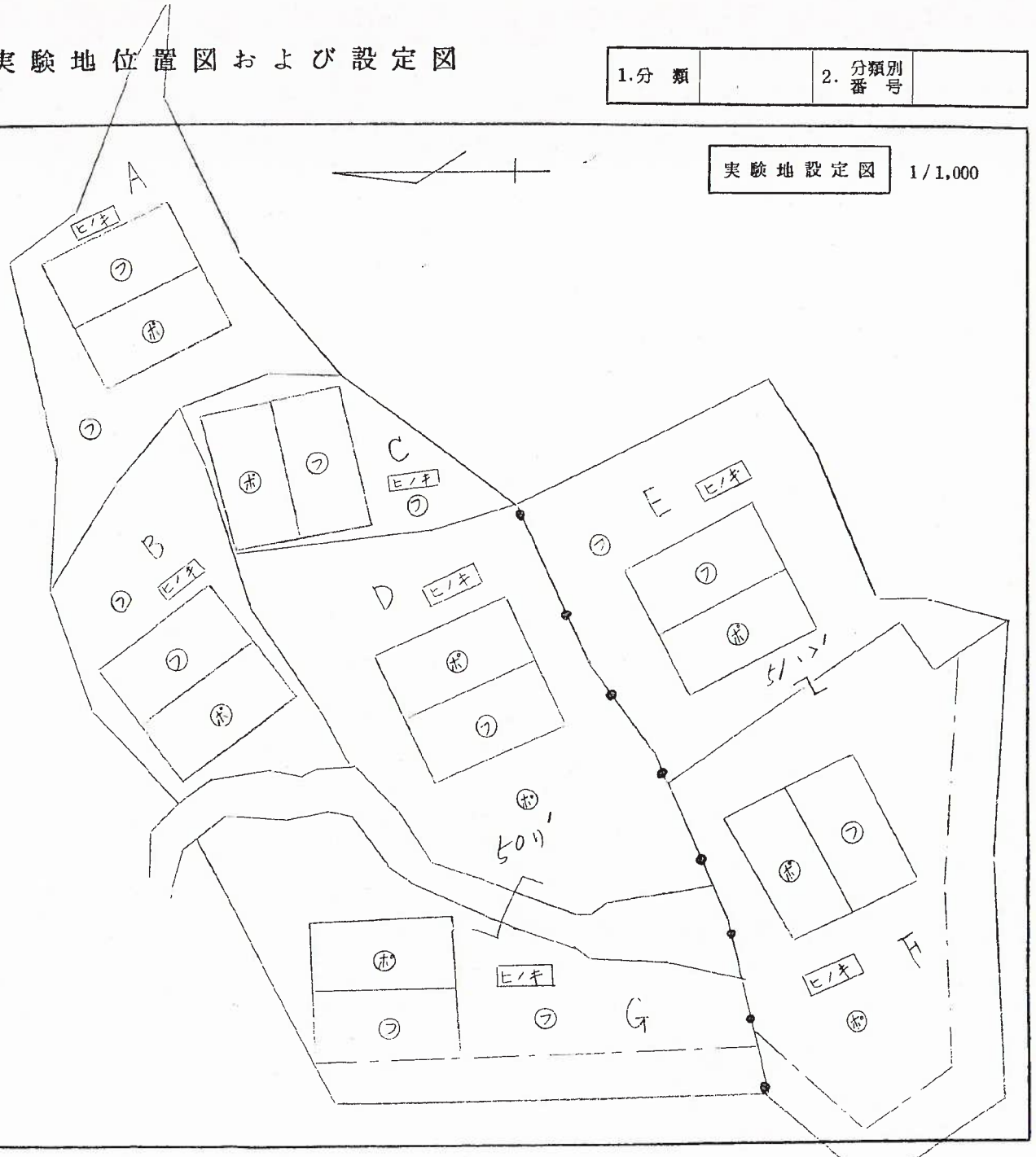
1. 分類

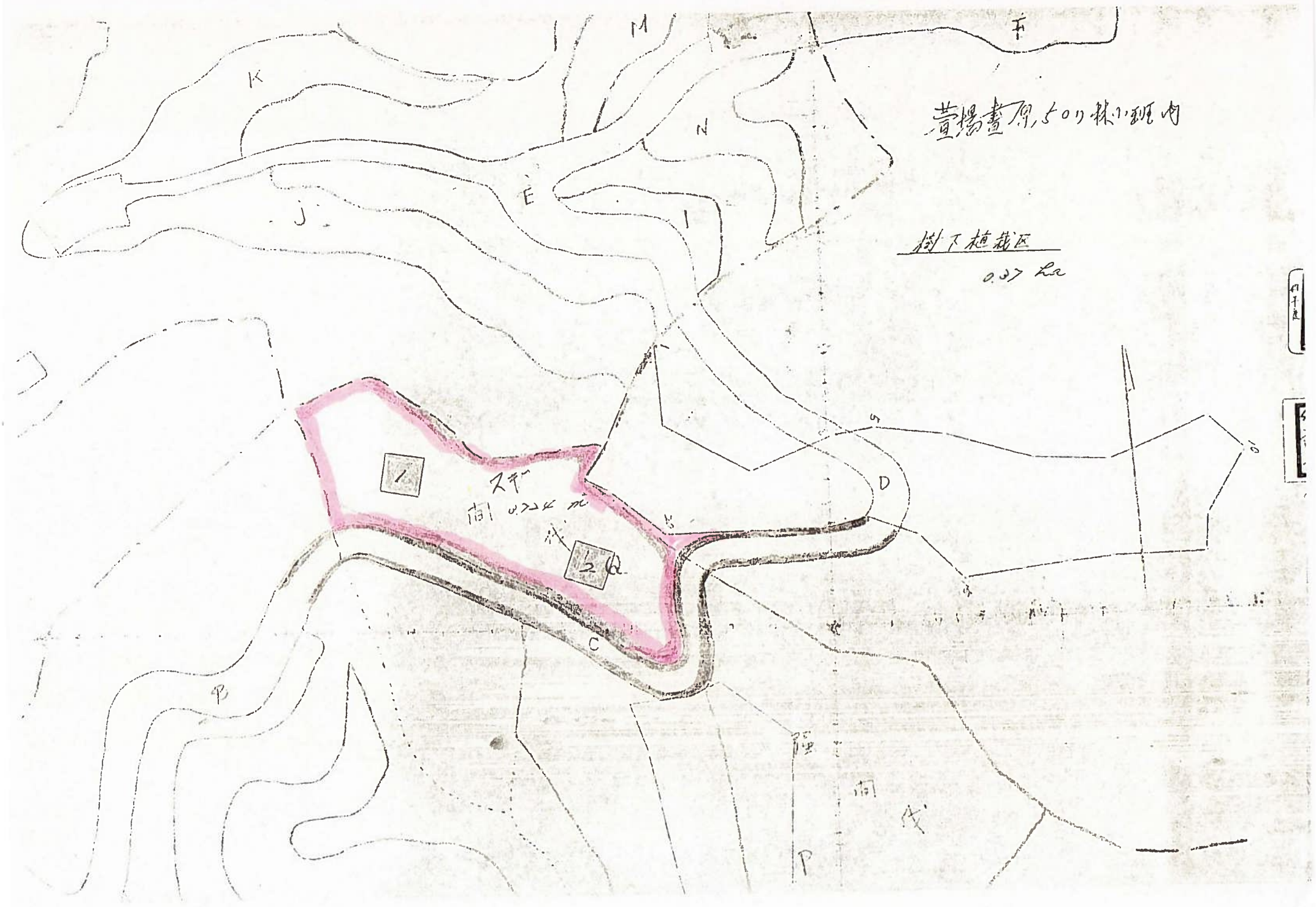
2. 分類番号

実験地位置図 1/5,000

実験地設定図 1/1,000

46年度設定





壹場畫原, 500 林小班內

樹下植栽區

0.27 ha

1

2千  
亩 0.224 亩

2

40 米

10 米

陸

向

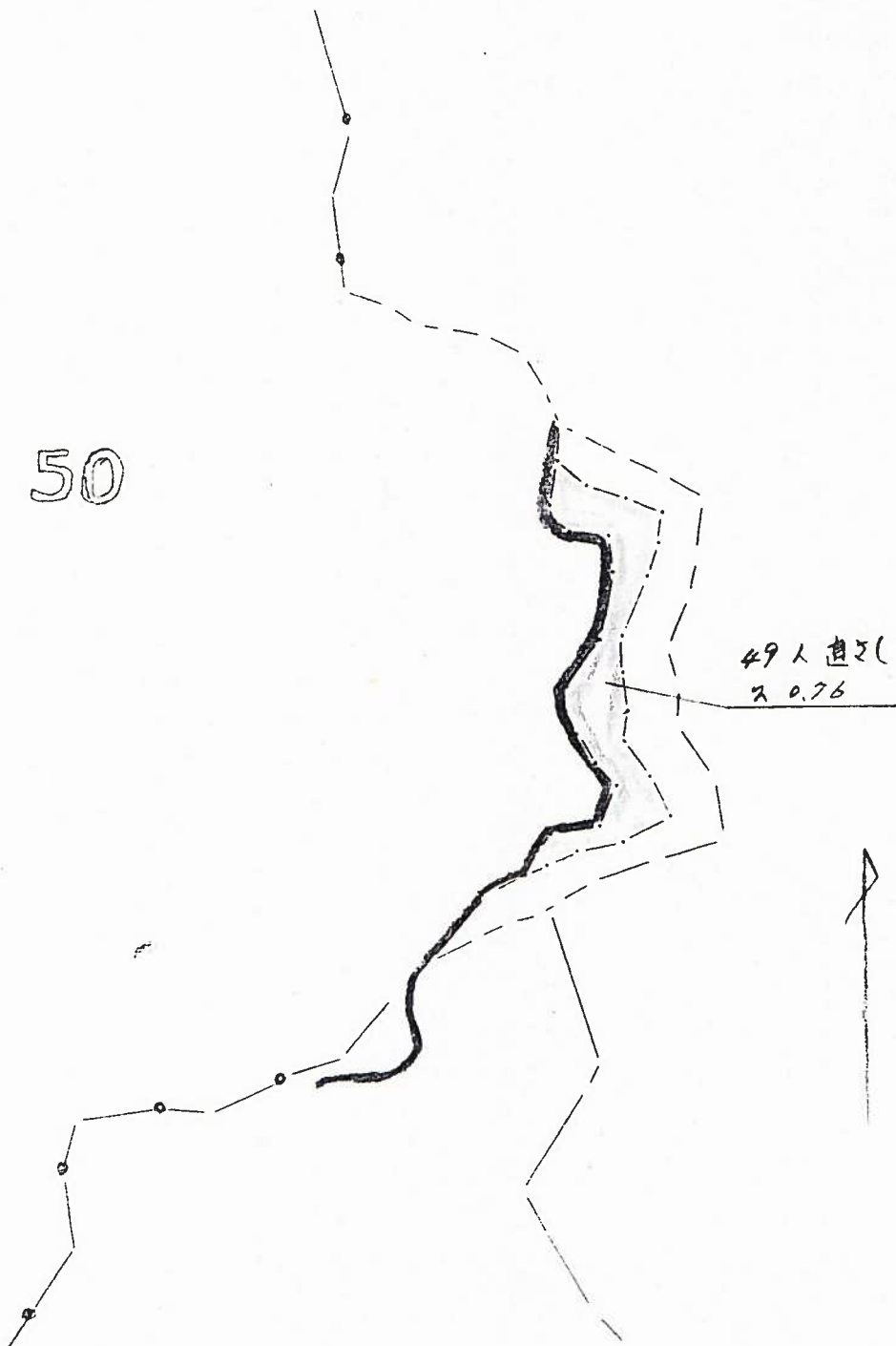
伐

P

# 49年度設定の図

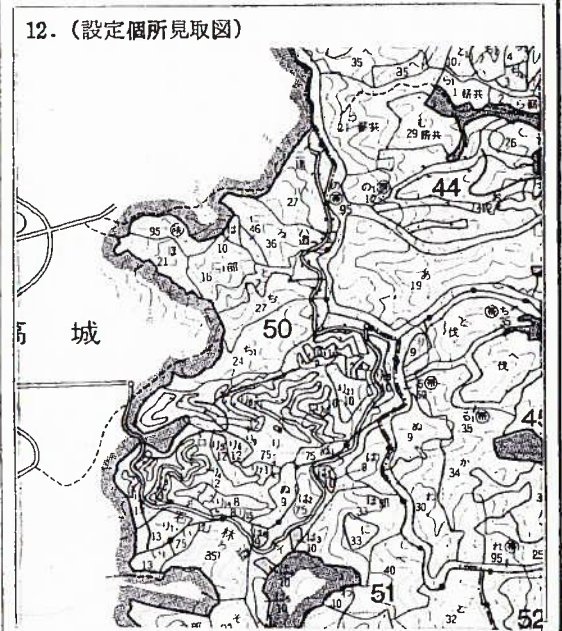
菅場原 50412 林小班  
樹下直さし試験地

50





3. 実験項目		施業指標林 その不保残木作業試験		4. 実験目的		保残木作業(林内人工更新法)による施業法の確立をはかる。	
5. 設 定	担当区名	高 城 担 当 区		国 有 林 班	登 尾 503 林班	小 班	12. (設定箇所見取図)
	設定者	(官職)	(氏名)	面 積	47年度 0.59ha } 計 1.49ha		
	設年 月 日	昭和 47 年 4 月	日	終年 月 日	昭和 60 年 4 月	日	
6. 実験の実施方法		調査事項 1. 作業手順      2. 造林木の生育      3. 植生の推移 4. 林内照度      5. その他					
7. 更 新	植 付	新 植 下 植 下 昭和 年 月 日	11. 方 位	標 高	150 ~ 200 m		13. 設定時の植生
	樹 種			傾 斜	基 岩	頁岩砂岩	
8. 施 肥	苗 木		土 質	年 平 均 気 温	15.7°C		14. その他
	ha 当 り 植 栽 本 数	本/ha		土 深 度	年 最 高 気 温	25.9°C	
9. 保 育	幼 壮 成 木 木 木		土 質	年 最 低 気 温	-7.0°C		
	下 刈			湿 度	年 平 均 降 水 量	2,710 mm	
10. 実験地の現況	つ 除 枝 間		土 質	土 壤 型	BC ~ BD		
	切 伐 打 伐			土 壤 酸 度			
10. 実験地の現況		昭和47年度植栽すべき人工林でha 当り平均高積は2700の林分					



(記載要領) 1. 分類欄は造林実験営林署運営要綱2. (3), (4), により大別し更に分類番号欄で細別する。  
 2. 設定箇所見取図は2万分の1の事業図で実験地およびプロットの設定状況が簡単にわかる程度とする。  
 3. 既設造林地に実験地を設定する場合は新植から保育迄の経過を作業毎に記入する。  
 4. 成木施肥実験の場合高林令のため施業の経緯が不明瞭な場合は判明する範囲で記入する。

# 施業指標林



凡例

- 帶 --- 等高線帶狀
- 小 --- 小面積皆伐
- 樹 --- 樹下植栽
- 保 --- 保殘木施業
- 其他 --- 其他(林保帶)
- 49 --- 設定年度
- 林道, 作業道 --- 林道, 作業道
- 其他(林保帶) --- 其他(林保帶)
- 其他(林保帶) --- 其他(林保帶)

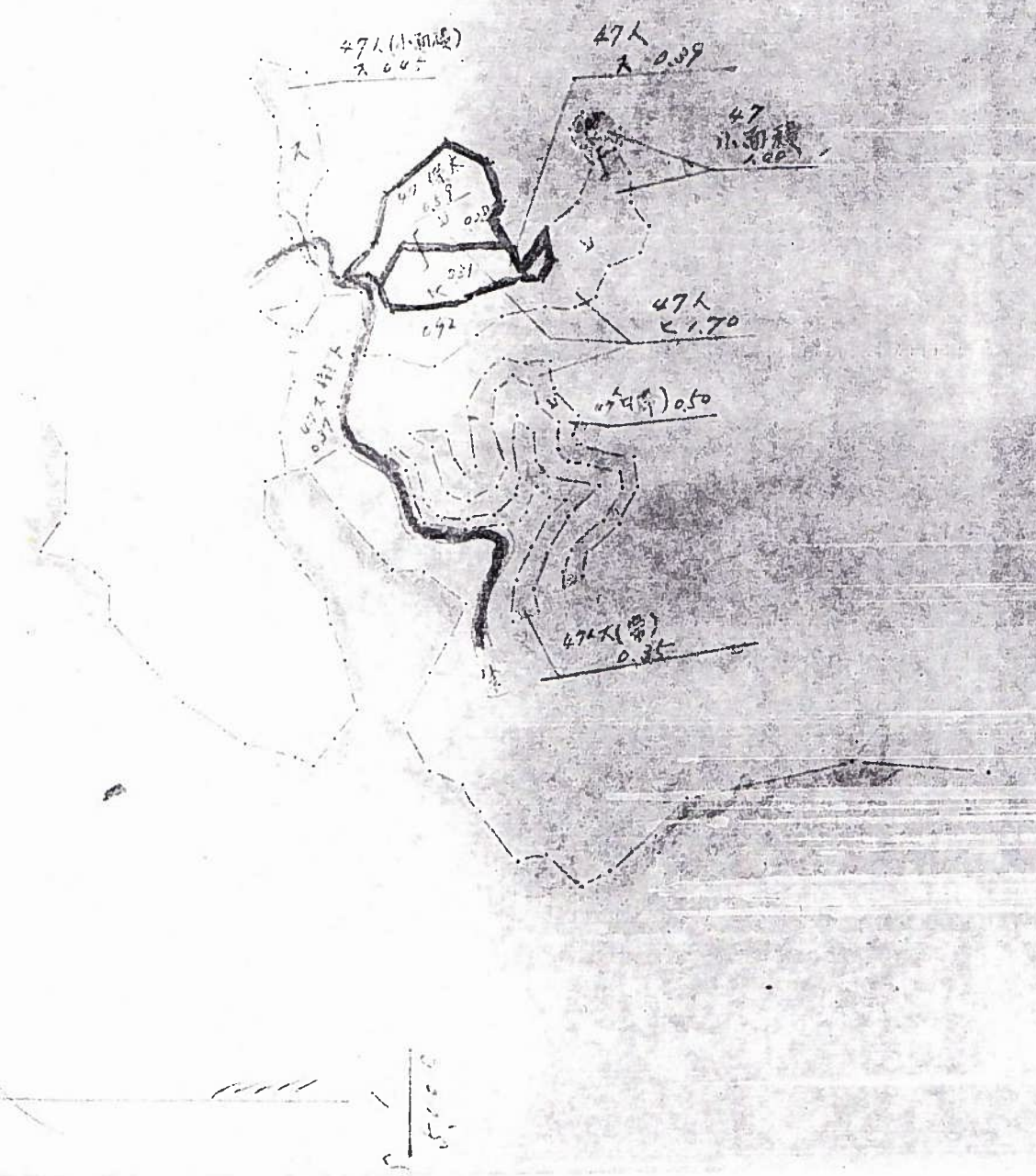
林道及作業道新設

年度	林道	作業道	計	林道長度
46	241 <sup>m</sup>	275 <sup>m</sup>	71.5	——
47	277	911	1,258	——
48	1,200	3,900	5,590	——
計	2,015	5,575	8,594	67 <sup>m</sup>

設定面積 : HA

施業	帶	小	樹	保	其他	計
46	2.04		0.52		0.57	3.20
47	2.55	2.07	0.07	0.57	1.43	11.01
48	6.84	0.76		3.90	1.24	9.95
49	4.57	0.60	0.76		3.98	11.59
50		11.5		2.52		1.97
計	21.00	7.51	3.65	1.47	2.06	1,093

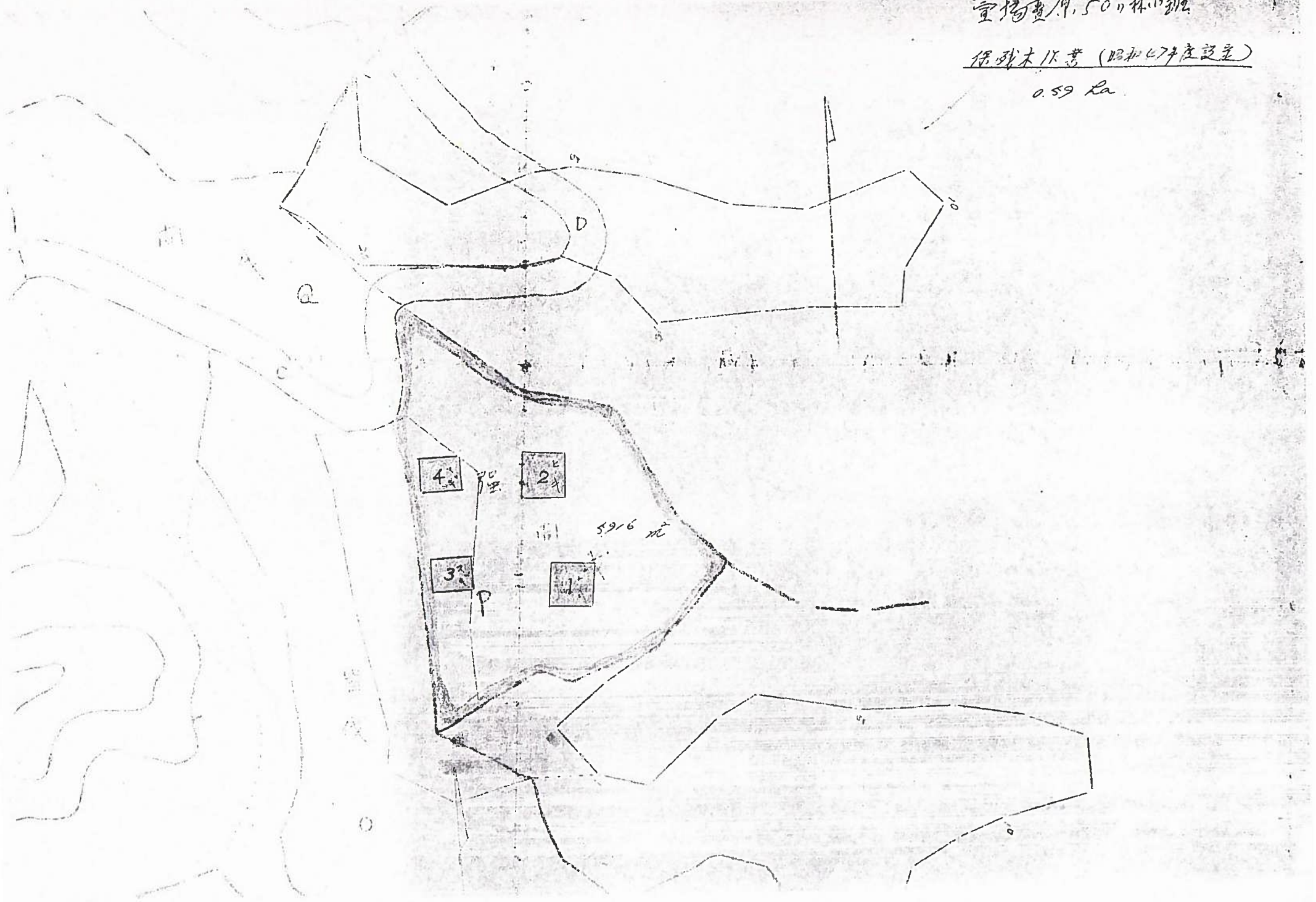
47年度改良一分  
 苗原50リ林小班  
 小面積皆伐試験  
 帯高線带状採  
 保残木作業



壹場壹月.50m林小班

採殘木作業 (昭和47年度調査)

0.59 ha

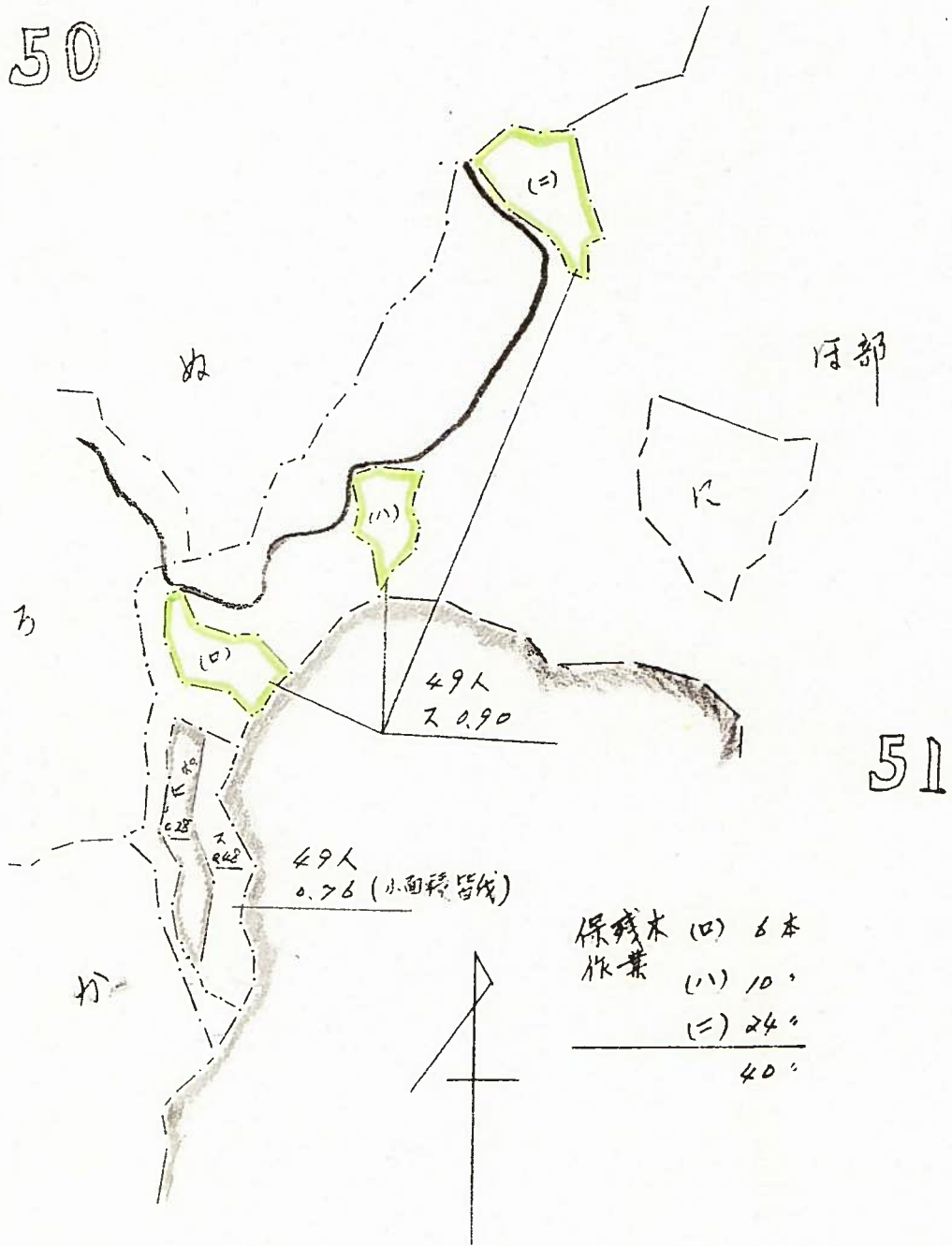


# 47年度設戻り台

登尾 5/14, 林小班

保残木作業試験

小面積皆伐



3. 実験項目		施業指標林 その1 新状況伐採作業試験		4. 実験目的		新状況伐採作業(林内人工更新法)による施業法の石履走をはかる。	
5. 設定	担当区名	高城 担当区		園林	有	林班	宇重野重原園林 50 林班 リ 小班
	設定者	(官職) 農林水産技官(氏名) 榎木 秀志 男 榎木 秀志 男		面積	積量	48年度 1.24 ha } 計 2.06 ha 50 ; 0.82 ;	
	設定年月日	昭和 50 年 年 度 月 日	終年月日	昭和 50 年 年 度 月 日			
6. 実験の実施方法	調査事項 1. 作業功程 2. 林内照度 3. 不適林木の生育 4. 植生の推移 5. その地						
7. 更新	植付	新植 昭和 年 月 日	11. 方位	標高	150 ~ 200 m		
	樹種	樹種		傾斜	平均	度	基岩
8. 施肥	苗木	苗木	土性	気	年平均	15.7°C	
	ha 当り 植栽本数	木/ha			深度	年最高	35.9°C
9. 保育	幼樹成	木木	堅密度	象	年最低	-7°C	
	下刈	下刈			湿度	年降水量	2,710 mm
10. 実験地の現況	つる	切伐	土壌型	BC ~ BD			
	枝間	打伐		土壌酸度			
10. 実験地の現況		明治44年植栽スギヒノキ林でその1年伐採は(スギ0.5ha)の林分					
12. (設定個所見取図)							
13. 設定時の植生		別紙集料表の通り					
14. その他							

(記載要領) 1. 分類欄は造林実験営林署運営要綱2.(3)、(4)により大別し更に分類番号欄で細別する。  
 2. 設定個所見取図は2万分の1の事業図で実験地およびプロットの設定状況が簡単にわかる程度とする。  
 3. 既設造林地に実験地を設定する場合は新植から保育迄の経過を作業毎に記入する。  
 4. 成木施肥実験の場合高林合のため施肥の経緯が不明瞭な場合は判明する範囲で記入する。

# 施業指標林



## 凡例

- ④ 等高線帶狀
- ⑤ 云葉樹施業
- ⑥ 小面積皆伐
- ⑦ 設定年度
- ⑧ 樹下植栽
- ⑨ 林道、作業道
- ⑩ 保殘施業
- ⑪ 其他(林道保帶)
- ⑫ 採伐施業

## 林道及作業道新設

年度	林道	作業道	計	林道年度
46	441	272	713	——
47	377	311	688	——
48	1200	393	1593	——
計	2018	976	3094	67

## 設定面積 : HA

施業	④	⑥	⑧	⑩	⑫	⑪	計
46	1.04	2.22				0.57	3.83
47	6.54	2.07	0.07	0.59		1.43	10.67
48	5.54	0.76		0.90	1.24	0.24	7.68
49	4.87	0.60	0.76			0.95	6.18
50		1.15			0.82		1.97
計	21.96	7.34	0.83	1.49	2.06	0.76	34.44

群狀狀伐 樹下地

48年度設置の分

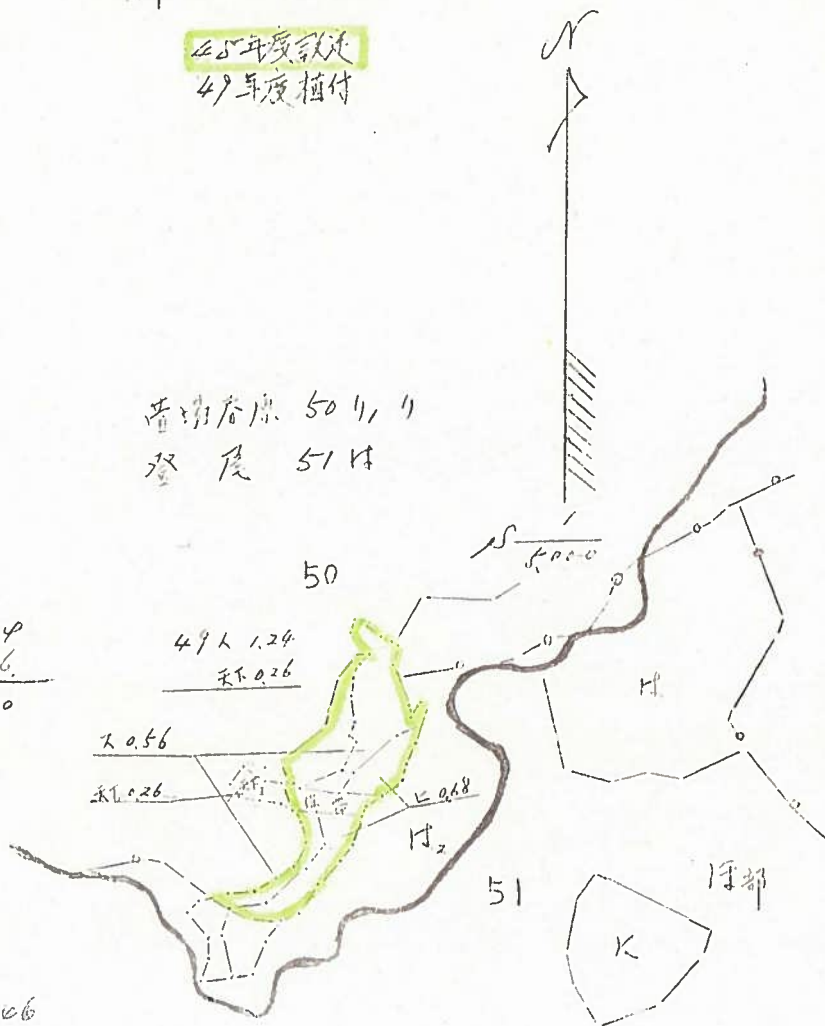
群狀狀伐試驗地

48年度設置  
49年度植付

普通苗原 50リリ  
及 51リ

124  
保帯~0.16  
T 140

49人 1.24  
T 0.26  
2.56  
T 0.26  
L 0.18



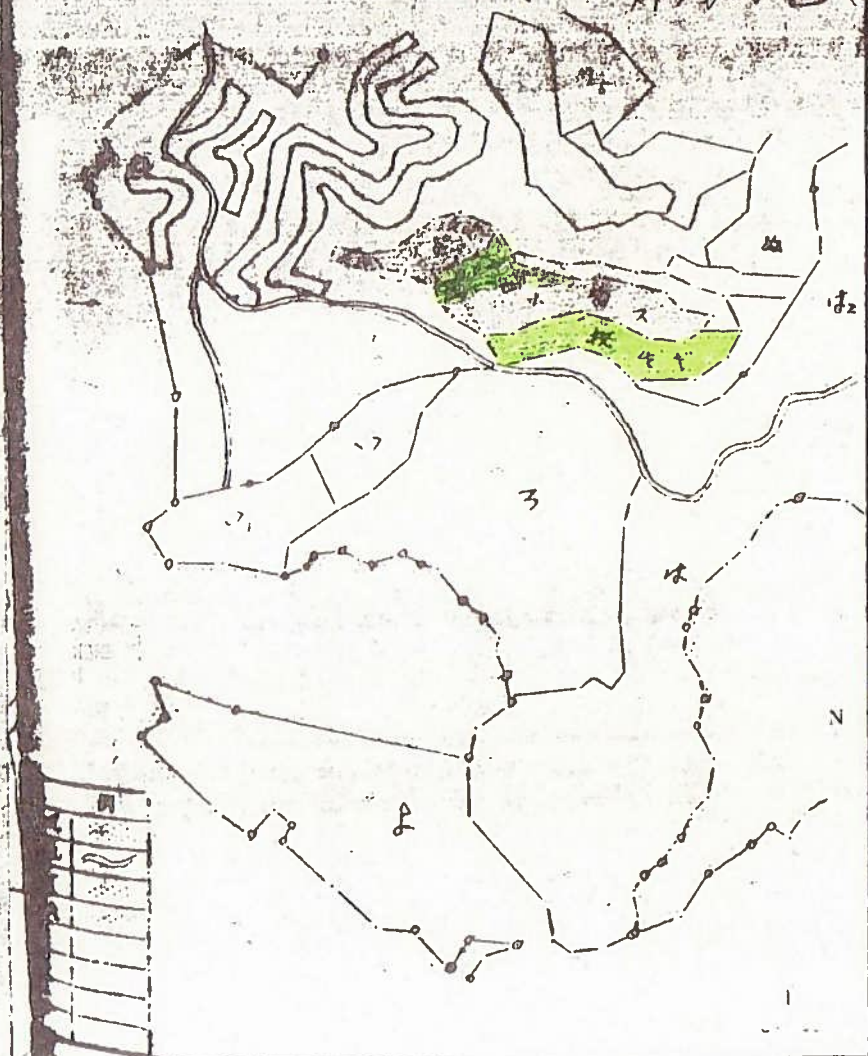
206  
117  
276

昭和47年度造林(新植)予定(実行)箇所実測(位置)図

所	林種	面積	備
1	阔葉林	50	林小池
2	阔葉林	1.74	0.20
3	阔葉林	1.87	

48年度設置  
49年度植付

48年度設置  
49年度植付



第四三段 中區

九州農